

## 令和元年度 子ども音楽大学いるま



### 1 実施体制

子ども音楽大学いるま 学 長 加藤 徹也 (武蔵野音楽大学音楽教育コース  
コース長)  
副学長 西澤 泰男 (入間市教育委員会 教育長)  
子ども音楽大学いるま実行委員会  
実行委員長 重松 聡 (武蔵野音楽大学 演奏部長)  
武蔵野音楽大学／入間市教育委員会

### 2 事業内容

- (1) 開校期間 令和元年9月7日～令和元年10月5日  
 (2) 参加者数等 定員 30名 応募者数 25名  
                   参加者数 25名 4年男子1名・女子9名  
   5年男子4名・女子5名  
   6年男子1名・女子5名  
                   修了者数 25名 4年男子1名・女子9名  
   5年男子4名・女子5名  
   6年男子1名・女子5名

### (3) 実施内容

<p>1日目 9/7 (土)</p> <p>※ふるさと学区の区分けはありません</p>	<p>講義名 「1、楽器のお話」 「2、楽器の製作と音出し」 「3、楽器で世界を旅しよう！」 「4、楽器の中の生き物たち」</p> <p>会場名 武蔵野音楽大学入間キャンパス 時間 10:00～14:30 講師： 守重 信郎先生、脇谷 真弓先生 須藤 麻紀子先生、松野尾 彩先生</p>	
	<p>写真</p>  <p>楽器の製作で工作中</p>	<p>写真</p>  <p>楽器の中の生き物は どこにいるかな？</p>

<p>2日目 9/21 (土)</p> <p>※ふるさと学等の区分けはありません。</p>	<p>講義名「1、楽しいアンサンブルづくりに挑戦してみよう！」 「2、作曲家の仕事を知ろう♪」</p> <p>会場名 武蔵野音楽大学江古田キャンパス</p> <p>時間 11:00~14:30</p> <p>講師：平石 由香先生、伊東 光介先生</p> <p style="text-align: center;">写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボディーパーカッションでアンサンブル♪</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作曲家の仕事ってどんなものだろう？</p> </div> </div>
<p>3日目 10/5 (土)</p> <p>※ふるさと学等の区分けはありません。</p>	<p>講義名「1、パイプオルガンの世界にようこそ！」 「2、作曲家の仕事を経験しよう！」</p> <p>会場名 武蔵野音楽大学入間キャンパス</p> <p>時間 11:00~14:30</p> <p>講師：秋本 奈美先生、伊東 光介先生</p> <p style="text-align: center;">写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>パイプオルガンを体験で演奏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修了式にて成果発表</p> </div> </div>

### 3 参加者の声

#### (1) 参加した子供の声（感想）

・世界の楽器をたくさん知れました。いろいろな生物をモチーフとした楽器が面白かったです。

・いろいろなキャンパスや、部屋がありびっくりしました。作曲家の仕事が知れて、楽しかったです。

・曲を作ってみるのは自信がなかったけど、みんなと作るのは、楽しかったです。

・最初の演奏で、パイプオルガンから出る音に驚かされました。裏に入れたり、弾いたり、とても貴重な体験で、楽しかったです。

#### (2) 保護者の声（感想）

・大学という場所に入るだけでも娘にとってはワクワクだったようで、毎回楽しみに参加していました。小学校とは違う場所での学びの場があることは、子どもにとってとても貴重だと思います。将来の選択肢を増やす機会にもなると思います。事業が継続されるようであれば、また是非参加したいです。

・ピアノ等を習っているわけではなかったので、本人が受講してみたいとすることで、大丈夫かな？と思いましたが、そのような心配も要らず、楽しく音楽の世界にふれ合うことができました。情操教育を立派な音楽大学で受けることができ、親子で喜んでおります。もっと沢山の子ども達が参加したら良いのにな、もったいないなと思いました。パイプオルガンの楽曲を聴いたり、楽器について学んだり触れたり貴重な経験ができたと思います。

・メロディーを楽譜にする作業も普段の生活ではほとんどしないので、この先の生活で活かしていけたらいいなあと思いました。辛い時、嬉しい時、気持ちをメロディーに乗せて表現できたらステキです。